

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	年に2回の家族会は定期的に開催していたが、今まで、施設独自のアンケートが実施されておらず、ご家族の希望・意見が反映されていない。ご家族が答え易い内容を工夫し活用する。	年に1回独自のアンケートを作成し、アンケートの結果を家族会にて報告し、施設の運営に役立てる。	ご家族が答え易いように、アンケートの内容を職員で検討する。アンケートの内容をご家族に報告し、指摘された内容については、取組みの状況を年度末の家族通信等で報告する。	12ヶ月
2	26	ケアプランに沿った支援の徹底のため、ケース記録とは別にケアプランの重点目標として、一部の取組状況を記載して意識付をしているが、短期目標全てを記載する事が可能であるか検討する。	全ての短期目標を記載する事は、時間的に困難であるので、短期目標一項目ずつを記入し達成する。	月初めに担当者が達成が可能と思われる短期目標の一項目をケース記録に記載する。結果を月末の職員会議にて検討し、達成したか否かの判定を行う。達成出来なかった項目は、翌月も引き続き取組んでいく。	6ヶ月
3	33	看取りケアの説明は入所時に行っている。実際、施設で最期を迎えられるご利用者は増えている。看取りを行うに当たっては、同意書・依頼書・受諾書を頂いているが、ご家族の意思を確認するため、また、今後のリスク管理を含め、定期的に改めてご家族と話し合う機会を作り、記録に残す事が重要である。	全ご利用者のご家族と看取りケアに関する説明と、医療連携・施設での取組を説明し、「看取りケア」に対して、同意をされているご家族に対しては再度意思の確認を行う。	全ての利用者のご家族に対し、「看取りケア」に関して説明を行う時間を設ける。現在は、「看取りケア」を行う該当者はいないため、見取りに関する同意書を頂くかの判断は、ご利用者の健康状態をみながらご家族の意思をお聞きしていく。	6ヶ月
4	35	緊急時の持ち出し用のファイルを作成しているが、本人確認のため、写真を添付する。また、備蓄がされていないため、備蓄の整備・一覧表による消費期限の管理検討を行う。	緊急時、持ち出し用ファイルの写真添付を、ご家族の同意の下早急に行う。備蓄に関しては、法人全体の課題であるため、実際にどこまで可能であるか検討する。	写真貼付の必要性をご家族に説明し、早急に貼付用の写真を準備し、貼付する。備蓄に関しては、実際の所、備蓄する場所の確保が難しく、法人全体の課題でもあるため、検討課題とする。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。